

■米国：NEI、15～20基が今後さらに早期閉鎖となる可能性を指摘

2016年5月19付の報道によると、原子力エネルギー協会（NEI）のファーター専務理事は、「今後5～10年の間に、15～20基の原子力発電所が早期閉鎖する可能性がある」と述べ、電力価格の低迷で早期閉鎖が今後さらに増えるとの認識を示した。これは、エネルギー省（DOE）が主催した、原子力発電所の早期閉鎖問題を話し合うための会議で発言されたものである。また同氏は、「連邦エネルギー規制委員会（FERC）や地域送電機関（RTO）は危機感が必要だ」とも述べ、FERCやRTOによる早急な対策実施の必要性を訴えた。本会議においてDOEのモイツ長官は、危機にさらされている発電所の救済はCO₂削減のために不可欠だとしながらも、「継続的運転を奨励する重要性は明白だが、解決策（手段）については不透明だ」と述べている。